

[okazaki_113]

活動タイトル	札幌市環境プラザ施設見学での省エネ講座
実施日	2019年7月2日
場所	札幌市環境プラザ ハウススタジオ (札幌市)
対象数	5人
内容	<p>看護学校の1年生を対象に、節電の仕方や、省エネが世界に与えるメリットを知りたいという希望があり、次のような内容で、見学とクイズ、実際の家電の消費電力の測定をしながら、お話ししました。</p> <p>【省エネによって得られるメリット】</p> <p>世界各地で起こっている「スクールストライキ」で、若者が主張していることが「パリ協定の実行」であること、昨年の台風で札幌でもたくさん樹木が倒れたこと、温暖化が進行することによって台風が大型化すると言われていることなどを紹介し、温暖化の悪影響を少しでも抑える緩和策として、節電・省エネがあることを伝えました。</p> <p>【身近にできる節電・省エネ】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 身近な家電の消費電力の測定：ハウススタジオにある家電（温水暖房便座、照明器具、テレビ）の消費電力を見える化モニターで示したり、掃除機や白熱電球、電球型蛍光灯ランプ、LED電球の消費電力をワットモニターで測定したりした。2) 冷蔵庫の省エネについて説明3) 省エネラベルの紹介4) 電気ご使用量のお知らせの見方5) 回路とコンセントの上限と、危険予防について6) トイレの省エネ7) 家電の省エネ設定8) クールチョイスの紹介（断熱・省エネリフォーム、再配達防止キャンペーン） <p>【強制ではなく、自然と行動したくなる「仕掛け」の紹介】</p> <p>バスケットボールのゴールが付いたゴミ箱や、深いところに落ちていくような落下音付きのゴミ箱、真実の口を模した手洗い装置、ピアノの鍵盤の形をした、実際に音が出る階段などの例を紹介して、各自で仕掛けを考えてみる。</p> <p>配付資料：E・Eミニガイド 省エネルギー編、冷蔵庫のディープなお話（NPO法人北海道グリーンファンド）</p> <p>感想：掃除機の設定による消費電力の違いが、全員の印象に残ったようでした。また、それぞれの家電の消費電力を知ることを通して、「毎日の生活の中で、少し意識を向けるだけで、省エネにつながることを思っていたより多くあったので、簡単にできることから始めていこうと思った。」という感想もありました。仕掛けについては、「世界に悪影響だからやって、ではなく、行ってもらおう工夫をしていることが良いなと思いました。」という感想がありました。</p>

「毎月 1 日が省エネルギーの日であることを初めて知り、きっとこのことは知っている人が少ないのではないかと思いました。ふだん意識して節電を行わない人も、1 日だけでも意識して行う人が増えたら良いと思いました。私も授業を通して、みんなに発信していきたいです。」など、紹介した内容から、自身で考えを深めたことがわかる感想もありました。5 人の感想から、印象に残ったポイントが異なることがわかり、いろいろな視点・角度から、情報提供することの重要性を再確認しました。

実施写真等